

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-37 母子保健事業								
主管課	市民健康課	関連課 発達支援室 こどもみらい課 こども相談課							
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	母性並びに乳幼児の健康の保持								
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人					
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
運営資源 状況	事業の対象者数	17,547人	14,722人		平成23年度分 交付金等内訳 ・妊婦健診補助金 17,277,000円 ・子育て支援交付金 (金戸訪問) 3,745,000円 (養育支援訪問) 473,000円 (こどもの事故予防強化) 361,000円 (思春期保健対策) 29,000円 ・未熟児権限委譲交付金 3,167,580円 合計 25,052,580円				
	決算値(千円)	118,853千円	125,609千円	127,460千円					
	(国・県)	25,053千円	28,245千円	23,220千円					
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円					
	(一般財源)	93,800千円	97,364千円	104,240千円					
	人員配置数	9.2人	9.2人	8.2人					
	人件費(千円)	79,246千円	80,914千円	76,059千円					
協働の 医療機関	医療機関	医療機関	医療機関						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	198,099千円	206,523千円	203,519千円					
	市民1人当りの経費(円)	1,118円	1,166円	1,152円					
	対象者1人当りの経費(円)	11,290円	140,281円						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体との 比較値)	団体名	鎌倉市	横浜市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	大和市	海老名市	小田原市
	H22 乳児家庭 全戸訪問事業	95.5%	65.7%	47.0%	84.2%	78.3%	75.0%	66.0%	H22.10月実施
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
乳児家庭全戸訪問事業	◎	目標値	84%	86%	87%	88%	90%		
		実績値	80.0%	95.5%	98.9%				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統縮小 E: 廃止・休止
母子保健事業	118,853千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 母子健康手帳、すくすく手帳の交付を行う。</li> <li>* 妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後1か月健診1回の助成を行う。</li> <li>* 家庭訪問(妊産婦・新生児・未熟児等)、乳幼児健康診査、両親教室、育児講座、乳幼児健康相談等を行う。</li> </ul>			
	事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E	

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	健診等の常設会場の確保ができないため、看板から身長体重計、診察用器機類ほか一式の準備・運搬・設営等が毎回必要となっている。 他の乳幼児健診に比べ、2歳児歯科健康診査の受診率が低い。 ハイリスク妊婦や外国人母子、多胎児が増加傾向にある。 母子保健事業の個別データに関し、予防接種等ともリンクした一貫した管理ができていない。
課題解決のための取組	2歳児歯科健診の個別通知を実施した。(受診率H22 58.6%→H23 70.3%) ハイリスク妊婦への健康相談や多胎児を育てる保護者への支援を行った。 母子保健事業の健診等の個別データをweb入力し、予防接種等ともリンクして一貫した管理が行えるようにした。 日本語の不自由な外国人母子への支援について、研修会を開催した。
未解決の課題	* 外国人母子への母子保健上の育児支援が必要となっている。 * 児童・生徒を対象とした思春期保健を学校保健と連携しながら行っていく必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年で健診等の母子保健事業が実施できる会場の確保に努める。</li> <li>・近年増加傾向のハイリスク妊婦や支援を要する保護者に対し、母子保健事業の各場面で専門的支援を行う。</li> <li>・思春期保健については、現行の講演会だけでなく、小中学生を対象とした命の教育を踏まえ、思春期保健を検討していく。</li> </ul>	↓ A	課長等名
		③有効性 ○				市民健康課長
		④公平性 ○				大澤 一則

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
母子保健事業	主な個別事業	106 母子保健指導嘱託員報酬	9,367	7,821	■適切 □見直し余地あり
		106 母親教室・育児講座講師等謝礼	424	406	■適切 □見直し余地あり
		106 妊産婦・新生児等訪問指導謝礼	4,166	4,162	■適切 □見直し余地あり
		106 母子健康手帳等消耗品費	935	912	■適切 □見直し余地あり
		106,784 すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費	987	880	■適切 □見直し余地あり
		106,784 妊産婦健診等委託料	73,213	68,864	■適切 □見直し余地あり
		106 乳児健診(4か月児、お誕生前)委託料	18,727	17,623	■適切 □見直し余地あり
		106 幼児健診等委託料	11,513	10,992	■適切 □見直し余地あり
		106,784 指定医療機関外の妊産婦健診・乳児健診補助金	3,929	3,789	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり